

様式第4号（第11項関係）

西脇市審議会等の会議の記録

審議会等の名称	第22回 西脇市子ども・子育て会議
開催日時	令和3年11月17日（水） 午後1時30分から3時まで
開催場所	西脇市役所 大会議室
出席委員の 氏名又は人数	13名
欠席委員の 氏名又は人数	3名
出席職員の職・ 氏名又は人数	事務局8名
公開・非公開 の別	公開
非公開の理由	
傍聴人の数	1名
議題又は 協議事項	<ol style="list-style-type: none"> 1 第2期西脇市子ども・子育て支援事業計画の進捗及び検証について <ol style="list-style-type: none"> (1) 主な取組・事業に係る進捗状況について (2) 子ども・子育てに関するアンケート調査結果及び評価指標について 2 ひとり親家庭アンケート調査結果について 3 ヤングケアラーについて 4 その他
会議の記録（概要）	
発言者	<p>本日は事務局から多くの報告があります。</p> <p>この子ども・子育て会議というのは、日本という社会にとって非常に重要な会議だと思っています。少子化社会だからこそ子どもたちにしてあげられることはたくさんあると思います。</p> <p>是非どんなことでもいいですので委員の皆様のご意見を伺えれば幸いです。</p>
会長	
事務局	【資料1-1、1-2】に基づき説明

<p>会長</p>	<p>ただいま事務局から説明がありました。このことについてご質問、確認したいことがありましたらご発言ください。</p>
<p>委員</p>	<p>資料1-1の10番、子育てワンストップサービス事業の実施（マイナンバーカード利用による児童手当等のオンライン申請サービス等）の幼保連携課で、「できなかった。入園希望者の申請は幼保連携課窓口と各施設で受付を行いましたので、オンライン申請サービスの利用はありませんでした。」というところで、しているから無いであろうという説明でしたが、ホームページを確認すると国の方では保育園、幼稚園のオンライン申請が2017年から実施されています。</p> <p>ところが、私も今頃気付いたのですが、周知が足りないのではないのでしょうか。</p> <p>西脇市のホームページで、オンライン申請で検索してもなかなか出てこなくて、オンライン申請に飛ぶところが無いです。</p> <p>目標ではマイナンバーカード利用によるオンライン申請を推進するということになっていますが、実は推進されてないのではないかと思いました。</p> <p>個人的にはどちらでもいいのですが、国の方でもマイナンバーを勧めていますし、今申込むといくらかポイントがもらえるようですし、最終的には書類を出してもらわなければいけないのですが、本当にオンライン申請を勧める気持ちであれば、張り紙や、園への案内などもっとしてもいいのではないのでしょうか。</p>
<p>会長</p>	<p>いま、市の方ではどのような形で周知をされているのでしょうか</p>
<p>事務局</p>	<p>認定こども園、幼稚園の申請については、今委員さんが言われたとおり、積極的にオンライン申請を勧めている状況ではありません。</p> <p>職員が園や施設に出向いて対面で受付するのが主になっています。</p>
<p>会長</p>	<p>今後その方向で行くということでしょうか。</p>

事務局	<p>市内の方であれば窓口に来ていただいたり、お問い合わせいただくことも多いのですが、市外とか県外で利用される方は、入園の調整を自治体間で行いますので、近くの市役所等に来ていただく必要があります。</p> <p>今後マイナンバーカードの利用を進めていく方向にもっていくということであれば、これからも周知の方は検討させて頂きたいと思います。</p>
会長	<p>まだ積極的には考えていないということですかね。</p> <p>委員そういうことでいいですか。他にご意見ありませんか。</p>
委員	<p>資料1-1の進捗状況ですが、コロナ禍の中でいろいろな事業が当然自粛されたり、中止されたりということはあることで致し方なかったことだと思いますが、評価のところ、できなかったところはできなかったという評価ですが、例えば65番の図書館ボランティアなどの連携による図書館事業（読み聞かせ等）というところにつきましては、令和2年度は48回開催できたということで、そのうちボランティアさんが31回入っておられるということで、令和元年度は48回という（）書きがされていますが、コロナ禍の中で最大限いろいろな事業をされているのはわかりますが、そんな中でもやはりある程度の計画数値より低ければあまりできなかった、ある程度目標値よりも高くないとできたという評価にはならないのでしょうか。</p> <p>コロナ禍での評価というのは少し厳しいように思うのですが、どのような評価をされているのかお聞きしたいと思います。</p>
事務局	<p>全体的なことになりますので事務局から答えさせていただきます。</p> <p>コロナの影響で4月から学校が休業になったり、今までにないことが起こったというところで、現場の方でも戸惑いながら進めたり、慎重になったりということは結果的に出ております。</p> <p>今回の進捗状況につきましてはやはりその影響で単純にできなかったということになっています。</p>

	<p>昨年そういった状況がありまして、ズームでの研修会など、いろいろな会議がだんだん増えてきて工夫しながら試しながらやっている状況です。</p> <p>また来年度は検証の仕方も考えたいと思いますが、今年度につきましては単純なところでの検証・結果というところでご理解頂きたいと思います。</p>
委員	<p>大変な中での結果というのにはよくわかりますが、その中で最大限の努力をされているのに、あまりできなかったという評価は、なかなか厳しい評価であると思うので、その辺については最大限に努力をしてできたという評価が、ある程度できたという評価につながらないのかというところをこの文面で思いました。</p>
会長	<p>実はもっとやっているじゃないかと、委員さんからの優しいお言葉掛けだと思えます。</p>
委員	<p>資料の22番からご覧ください。</p> <p>学校が子どもたちにいろいろ指導をして頑張っておられる様子が書いてあります。</p> <p>学校へ行って、先生方とお話しする中で、今すごく大変だな、何とかしないといけないなと思っていることがゲーム障害です。ゲーム障害に陥ってしまっているご家庭のお子さんがなかなか立ち直れていません。</p> <p>学校の行事に行きますと、参観の後にゲーム障害の話がされるような講演会があって、先日も西脇小学校の参観日に行かせてもらったのですが、希望制にされていて、今までだったら体育館で行われるのですが、たくさんの方が集まるのでどうされるのかと思ったら、多目的のちょっと広い所で80人くらいの方が集まっておられました。</p> <p>保護者向けの講演会の前に、先に子ども達へストレスにどう対応したらいいかというお話をされて、ここからはおうちの方と話をするからということで子ども達は退出して、ゲーム障害のお話をされたのですが、いいお話でした。学校も本当に悩んでおられると思います。</p> <p>今不登校に陥っている方の親御さんと連絡を取って何とか相談に乗りたいと思っても親御さんも忙しく、</p>

子どもが休んでいてもそのままになってしまっています。子どもは学校へ行かなくても友達とゲームで繋がれるんです。だからそれで『友達いいわ』みたいな雰囲気になってそのままになっている。親がどことも繋がっていないんです。

何とかしたいなと思って、学校の先生とも話をしますが、そこからなかなか次へ行けないんです。

ゲーム障害というのはWHOでも病気ととらえているから治療してあげないといけないのですが、どこに行ったら治療が受けられるのか、それも分からないまま今に至っています。

基本的な生活習慣とか食育とか命の大切さとか健康作りとか体力作りとかそういうことは今までからもずっとされていることですし、力を入れていかないといけないのですが、このゲーム障害について何とかしていかないとなんともないことになってしまうような気がしています。

取組のところにそういうのを入れたいな、入れてほしいなと感じながら今日来ました。

会長

教育委員会はどうお考えですか。

事務局

今ご指摘の問題は、本当に学校が苦慮しているところではなく、特定の小学校だとか特定の中学校だけのことでなく、市内全域で課題となっているところです。

よく卵が先か鶏が先かというような言葉がありますが、ゲーム依存になるから不登校になるのか、不登校になったからゲームに走るのかというところが議論されているところです。

資料1-1の74番をご覧ください。

今までは情報モラルに関する講演会、ほんの10年前までは携帯電話というものが入ってきたときに、まず携帯電話を子どもに持たせないでおきましょうというような啓発が全国的に主でした。

しかしながら今はもう携帯電話、スマートフォンは使えて当たり前、タブレットも正しく使えて当たりの時代になってきています。

ですので、SNSを始め、このネット環境といかに折り合いをつけて上手に付き合っていくかということは、

小学校低学年から教育が必要です。

その中で今委員が言われましたネット依存、ゲーム障害のことですが、昨年度から西脇市の青少年問題協議会でも取組を進めておりまして、本年度第2回目の会を今月開くのですが、子ども一人一人が、自分がゲーム依存になっていないかどうかを、子ども自身でまた、保護者と一緒にアンケートを取ることを計画しています。

実はアメリカで開発されたアンケートの研究ですが、ゲーム依存になった人のためのアンケートは日本に入ってきていますが、ゲーム依存になる前の未然防止のアンケートというのは日本ではありません。それを教育委員会と神戸医療福祉大学、兵庫教育大学、大阪人間科学大学の各教授の先生方と共同開発をしております。

最終的にはゲーム依存になっていないかどうか未然防止のためで、親子で取り組むことによって保護者にも啓発したいと考えています。

決してゲームを否定するものではありません。なかには人とのコミュニケーションが、SNSの方が取りやすい、例えば子どもがSOSを発信するのはLINEであったり、保護者もそうですが、LINEでの相談であったり、メールでの相談であったりというのはあります。

切り口はどこでもいいのですが、完全にゲームがダメだというようなことではなくて、正しく使っていきましょうということです。

日本では久里浜医療センターがこのゲーム依存の研究を最優先にされています。

そこの見解では学校現場はゲームを否定するのではなく、ゲーム以外のリアルな人間関係、例えば運動会で走ったり、音楽会で奏でたり、人間と人間が直接出会う経験、クラスの中での友達との人間関係、部活の中での人間関係が、ゲームの世界よりもリアルな世界の方が上回っていればゲーム依存、障害にはなりませんということがあります。

ですから学校現場としましては、昨年度もコロナで学校行事が短縮されたり中止されたりしましたが、学校でいう特別活動を大事にしていきたいという両輪で考えて取り組みたいと思います。

	<p>委員からご意見をいただいたことですので引き続き青少年問題協議会の方でも議論してまいりたいと思います。</p> <p>具体的には12月の末から1月にかけて西脇市内3,000人全員行います。</p>
会長	<p>ありがとうございました。アンケート調査は、とてもいいことだと思いますが、異常が出た時に、神戸医療福祉大学、兵庫教育大学、大阪人間科学大学等が受け皿として動いてくれるということでしょうか。</p>
事務局	<p>はい。実は以前にコロナ禍で学校休業期間中に、心と体のストレスアンケートというのを3,000人全員に行いました。</p> <p>西脇市内12校のスクールカウンセラーが3,000人全員分目を通して、その結果で要注意の子どもは担任の先生か学年の先生かスクールカウンセラーか誰かが対面で相談をかけていこうということになっています。</p> <p>その時と同様に本アンケートの取組も西脇市のスクールカウンセラー全員で研究して取り組んでいきますので、フィードバックすることは最終的には学校で行いますが、ゲーム依存の指導を学校の先生がするわけではありません。</p> <p>基本的には学校でゲームをやっているのではなく、家庭内のことですので、YouTubeの動画を見ていただいた上でアンケートをとっていただきます。</p> <p>その動画の中、配布するプリントの中にゲーム障害の定義であるとか、うちの子ゲーム障害なのかどうなのかなど思った時はこうですよ、医療機関はこうですよという様なご提案は同時にさせていただこうと思っております。</p> <p>最終的には兵庫教育大学、神戸医療福祉大学、大阪人間科学大学の教授で、西脇市の3,000人の子どもたちのアンケートだけのための検証を行っていただいて、来年度、保護者向けの手引を作成する予定です。</p>
会長	<p>小児学会でも「テレビとゲーム併せて2時間まで」といっています。この予備軍を見つけるということも</p>

<p>委員</p>	<p>大切ですし、ネットの時間も含め、見ることの怖さについても子どもたちに教えていくことが大切だと思いますので、興味深い取組を期待しております。</p> <p>小学校でタブレットを一人1台配布というので、こども園とか就学前においても、今文科省の指定園とかで、そういうことに取り組んでおられる園がありますが、それが正しいのか正しくないのかというところどうかよくわかりません。</p> <p>現実問題として1歳2歳ぐらいから保護者の方が子どもを泣き止ませるのに、あやすのに、ちょっと静かにしてもらうのに積極的に渡しておられます。だからゲーム依存のとっかかりは保護者の方だと思います。</p> <p>今3、4、5歳は、ほとんど家庭保育されている方はないので、集団生活をしている方が9割以上だと思います。</p> <p>0歳1歳を含むのは微妙ですが、1歳2歳の就学前の子どもたちは本当に与えられていて、何なら私よりスマホを使いこなしている子どもがいっぱいいます。</p> <p>市内の3,000人の子どもたちの保護者の方もそうですが、こども園、幼稚園を巻き込んでいただいて就学前はどうなんだ、ちょっとその辺も考慮してもらって、西脇市として何か先進的な取組みをしていただけたらうれしいなという意見です。</p>
<p>会長</p>	<p>そのことにつきまして教育委員会がやろうとしているのは予備軍を見つけ出して対応することじゃなくて、予備軍にならないためにネットについて勉強して、子ども達に教えていただくことが大切かなとそのあたりにも取り組んでほしいと思います。</p> <p>私の小児科医としての話になりますけど、携帯でスマホに子守りをさないでというようなキャッチフレーズを作って、パンフレット・ポスターも作っております。</p> <p>我々の外来に来ても子どもに携帯を持たせておられる方も多いですし、自分は携帯やスマホを見ながらメイクをなおしている方もあります。そういうことのないように教育に取り組んでいただけたらと思います。</p>

<p>委員</p>	<p>タブレットを一人1台配ってもらっていますが、あれも本当に必要なのかなと思っています。教育委員会からタブレットを配布するというお手紙をいただいた時も、今とにかくパソコンが使えなかったらダメだ、一刻も早くちゃんとマスターするために必要ですみたいな趣旨だったのですが、はっきり言って私はそういう世代ではなかったですけれども、必要なときに必要な教えを受けるというか教えてもらえば、そんなに世の中の手続きから取り残されるようなことはないと思っています。</p> <p>だからなぜそんなに急いでタブレットを一人1台配布するのかなと、前から疑問に思っていました。</p> <p>ただ社会の空気としては、子どももパソコンに触る、YouTubeを見る、そういうことが普通になっています。</p> <p>うちの子どもなんかはあらかじめ制限して、他のお子さんよりも触るのがうんと少ないのですが、そういう話を学校ですると時代遅れと言われる。それでいいですよ。うちは時代遅れですからと言っているのですが、やっぱり今、市をあげてみんなで考えていかないといい方向にいかないのではないかと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>文科省の考え方もあるのですが、教育委員会はどうでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>はい、そうですね。今頂いたご意見は文科省が全国的に、もともとは経済対策で始まったというふうなことが新聞報道であります。</p> <p>今委員が言われたことも教育委員会でも大事にしているところで、タブレットが入ったからといってすべてのことがデジタルでいくのか、ICTが教育をするのではなくて教育するのは人間だというスタンスは必ず土台に持っております。</p> <p>西脇市内の小学校1年生から6年生までの全ての8校の担任の先生方がオンラインで情報共有しています。</p> <p>その中でタブレットをどのように使っているか。</p> <p>例えば低学年ですとやっぱり低学年の間は4Bとか5Bとかの濃い鉛筆でちゃんとリアルに紙に書くことが土</p>

台ですよね、ということで、先ほどもゲーム依存の中でリアルという言葉がありましたけれども、そういうものを使い分けていきながら発達段階に応じて使う時間を決めています。

ニュースや報道では、タブレットが入ったら子どもがタブレットを使って授業に取り組んでいる画像が流れるのですが、小学校は45分間ずっとタブレットを見ているのかと思われそうですが、実際はそんなことはありません。今までどおり先生と友達とやりとりをしながら授業が進んでいきます。

よく昔から、「この問題が終わった人は計算ドリルを先にやってください」というのはあったと思いますが、それが計算ドリルを開けるのではなくて、タブレットを開けてドリルパーク3000問入ってるから自分のこの先のをどんどんやっていきよ、速くできる子はどんどん速くやっていく、時間も保証される、復習したいなというところはふり返りのところの問題を選んでやっていくというふうな、そういう一部分をタブレットを使ってということもあります。

何も365日1015時間全部タブレットを使っているわけではありませので、その辺はバランスを見ながら進めているところです。

会長

少しだけ納得していただけたでしょうか。

委員

小学校の校長なので現場の状況だけですけれど、やはり学校行事とかが大事だというようなアンケート結果が出ているという話があります。

緊急事態宣言が9月末で明けて10月11月、小学校であれば運動会があり、その後修学旅行、自然学校、オープンスクール、社会見学旅行というような形で毎週学校行事が何かあるという中で、子どもたちからは、しんどかったけれども楽しかったというような感想がよく返ってきます。

ですからやはり学校現場も学校行事は大事だなと思います。

どこかへ行って体験する、人と人が接して体験するという行事が重要だなということは子どもたちなりに分かってくれているのかなと思います。

先ほど委員の方から出ましたタブレットの話ですけど、本来コロナがなければ国は3年計画でギガスクール構想を打ち上げていたと思うのですが、それを前倒しの1年にしています。

ですから学校現場の方もタブレットを使用しているのは、今コロナだからコロナ対応の授業を進めていくためにギガタブレットを活用しているのか、それとももう既にそういう時代だから授業でタブレットを使おうとしているのか、そこを間違うととんでもないことになるということで、今コロナの中で、何とかする方法としてタブレットを使用しているというような感覚でいます。

2学期の最初の始業式の時に子どもたちにタブレットを使った学習というのはどうですかと聞きましたら、3分の2の子どもたちは、自分たちが勉強する教科書の文面が前に映し出されて、手元にも同じものがあるので落ち着いて勉強できるという意味合いも含め、視覚の方にも訴えてくるのでやりやすいと、3分の1の子どもたちはタブレットを使った勉強が嫌いだ、もっと話し合いをしたり文章を書いたりして勉強したいという状況でした。

先ほどゲームの話もありましたが、本校の保護者から、子どもがゲームばかりするので、毎日子どもたちの使っているゲームを朝出勤の時に袋に入れて自分が出勤する車に積み込んで持って行く。これが疲れてきて本当にしんどいです。どうしようという相談がありました。その中で、「お母さん、目標としてどれぐらい思っていますか」と聞きましたら、1時間ぐらいかなという返事があって、現状は大分近づいてきましたということで、それでいいじゃないですかというような話をしましたが、やはり各家庭で悩みを持っておられて、いろいろな取組をされているのかなと思います。

タブレットはローマ字入力をする必要があったりしますので、ローマ字を習うのは3年生で、1年生2年生の子は学校でローマ字を習っていない状態なのでなかなか難しい部分もあるかと思います。

本校だけかもしれませんが、タブレットを使ったからといってテレビで放送されて先進地のような活動が

	<p>できるわけではないので、それぞれの有効な部分はあるかと思いますが、それに頼りきるのは非常に危険だなというふうに思います。使う部分と使わない部分をしっかり区切りをつけて使用していきたいというところが学校の現状です。</p>
<p>会長</p>	<p>教育委員会是这样考えているということで結果も含めて今後の検討課題だと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>今回初めてなので、あまりよくわからないところもありますが、主な事業計画の評価というところで、あまりにも量が多すぎて何が大事で何が課題でどこに何があって何のためにやっているのかよくわからない。</p> <p>別に批判している訳ではなくて、大変だなというふうに思っています。いろんな行政の組織の方々も関わっているのかなというところですが、最終的にはそれぞれの項目に対して、できたかできなかったかというところを、コロナの影響もあったとはいえシビアに見られているのかなというところは素晴らしいなと思いました。</p> <p>ただ各項目でも事業計画があって、いろいろすらすらとやらなきゃいけないテーマがあると思うのですが、先ほどのマイナンバーカードの現状で行くと、そこを使っても意味ないよねということも含めて、正直ベースの現状を共有していただきながら、どこが大事か本当に絞り込んで大きなテーマの中で1つでいいと思うので、そういう絞り方をして、具体的にそこに注力できるような取り組みの方が、子ども達にとってもスピード感があるし、子どもたちの成長も早いので意味のある取組になるのではないのかなというふうに思いました。</p> <p>保護者として子どももおりますので、個別にみたらそれぞれ素晴らしいと思うのですが、行政とか教育委員会の中でもここが一番大事だと思っているところに絞り込んで、スピーディーにやっていただければなと思ったところではあります。</p> <p>時間があれば各項目のところで、本当にどこが大事だと思われているのかというところをお伺いしたいところですが、時間がないと思いますので、また次回以</p>

降で機会がありましたら、そういう情報もですが、取り組まれている中で、実はここはそんなに取り組まなくてもいいと思っているんだというところも含めて、正直ベースで言っただけであれば意見しやすいのかなというふうに思います。

それと先ほどの自己肯定感が下がっていますよというテーマに対しては、各教育関係の部署でこれを上げるためにどうしたらいいのかということから、どんな施策をしたらいいのかというふうにやった方がわかりやすいですし、一番ここがキモかなと思います。

西脇小学校のPTAの時に学校の成績の向上委員会というか、今、教育委員会でやっていると思うのですが、ここでもやっぱり同じように自己肯定感が低い、日本全体だと思うのですが、今もずっと続いているので結構この部分は大事だなというふうに思っています。

教育関係者の方々の課題というよりは、親の責任とか社会の現状が、いろいろ他人事で批判するということが多いから、それを見て育ていたら批判されるのは嫌だなとか。また当然われわれが子どもたちに対して褒めるという癖がついています。特に日本人はそうだと思うのですが、これはずっと続いている話なので一番重たい話かなというふうに思いました。

切り口としては、そういう事象に対してそれぞれが何をやっていけばそこがうまくいくのかというアプローチ、もし議論されていたり、進められていたらそこはぜひ教えていただきたいなと思いました。

アンケートの課題認識ですが、我々保護者としては何に対してどんな行政サービスがあって、社会的なセーフティーネットがあって、何を利用していいのか正直わからないことだらけです。

そもそも何があるのかわからない中で、このサービスがイケてるかイケてないかということも判断できないことが多かったというふうに思っております。

まずはどんなものがあるのかということを知る機会とか、われわれももっと積極的に情報を取りにいかないといけないかもしれないのですが、知る機会というところで理解して、実際に利用していくという行動変化を僕らが変わっていかないといけない話と、学ばせていただくというところと、長年関わられている皆様

	<p>方がこのサービスはあるけれども我々の観点から見たらもうちょっとここを変えた方がいいという所と並走して進めていくことができれば、より良い流れになるのかなというふうに思います。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>アンケートで知りたかったのは、資料2-3の地域の子どもに関する治安の悪化を感じる市民の割合が増えてきている。それはどういうところからそういうふうになってきていると思われるのでしょうか。</p> <p>具体的なことで、こういうことがあるから市民は感じているのだということが分かりましたら教えていただきたいです。</p>
<p>事務局</p>	<p>アンケートによると、声かけ事案がメールで届いたり、ニュース報道等でネット社会での不安を感じておられたり、というところからではないかと思います。</p> <p>防犯ネットを登録している方は、声掛け事案等が頻繁に入ってくるので、そういうところをアンケートで答えられているのかと思います。一方では逆の場合もあり、全くそんな話は聞かないという、両極端な意見もあります。このあたりの捉え方は、インターネットを駆使して情報を取りに行かれる方との感覚の相違もあり、これをどう判断するか難しいところです。</p>
<p>会長</p>	<p>ここでもネットという問題が出てきていますので、ネットに対する対応というのは今後この会議でも必要となってくると思いますので指摘させて頂きました。</p> <p>子ども・子育てに関するアンケートまとめのところで、SNSなど相談者が自宅に居ながら手軽に子育て相談が行える窓口を検討する必要があるとありますが、何か具体的に方法を考えておられますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>コロナ禍の中ということもあり、国でもズームや、スカイプなどを使った相談も例として挙がってきています。</p> <p>私たちとしましても、そういう環境を作るのに、携帯電話のソフト等を利用し、どのような形で面談にもっていくか等を考えてはいるのですが、予算の段階</p>

<p>会長</p>	<p>で、内部的に協議しているところです。</p> <p>今後の課題というところですね。</p>
<p>委員</p>	<p>先ほどゲーム依存の話の中で、講演会がコロナの影響もあって希望者だけで開催されたと聞いたのですが、きっと一番聞いてほしい方は来られないのではないかと思います。</p> <p>もうちょっと強制力といいますか、みんなに知ってもらって、問題を共有してもらえそうな形を希望します。</p> <p>というのも、私の娘は今5年生ですが、クラスメイトの子はきっとゲーム依存だと思います。</p> <p>夜中中ゲームをしていて授業はずっと寝ています。宿題は放課後先生とやっています。</p> <p>その子も助けてあげたいし、先生の仕事ばかり増えるので、もうちょっと他からサポートできるような状況を作っていってもらわないとちょっと不安に思います。</p> <p>ゲーム依存以外にも昼間に学校に行きにくいので放課後に登校して先生が授業をしてあげている子がいたり、下校時、息子の登校班では、ずっと先生がついて指導をしてくださっているのですが、もうちょっとそこをサポートできる体制も整えていただきたいです。</p> <p>先生が一番力をかけたいなというところにかけてもらえると他のみんなの子どものためにもとなると思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>あたたかいご意見ありがとうございます。今委員が言われたように本当に来ていただきたいご家庭のかたに来ていただけないというところです。</p> <p>兵庫県でゲーム依存の実際の治療を行っておられる神戸の専門医の先生ですが、今西脇市内全部の校区に入ってもらっております。この間、西脇南中学校校区に入りましたが、青少年センターでも今、委員さんが言われたとおりであろうということです。</p> <p>学校の先生がゲーム依存の話は正しくはできないので、事案が起こった時、例えば先程の5年生の保護者の方とか生徒本人とかが、まずYouTubeの動画を見て理</p>

	<p>解ができるように、西脇市教育委員会のYouTubeチャンネルに昨年度から講演の動画をアップしています。</p> <p>この間、教育委員会に、家でゲームを禁止したら市の公共施設へ行って一日中ゲームをしているという相談があった時に、「いやいやお父さんゲームを取り上げてもダメですよ。二次障害になりますよ」「講演動画をYouTubeに上げているので、まずはお父さんそれを見てください」というように、正しく理解してもらうようにしております。</p> <p>ですから見ていただきたい方にどのように伝わるかというのは、逆にYouTubeの力を、ネットの力を借りてということで、何度も何度も繰り返し学校からも発信はあると思いますが、教育委員会からも発信していきたいと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございました。他にご意見ありますか。</p>
委員	<p>どのぐらいの割合でゲーム依存の子どもがいるのかわかりますか。</p>
事務局	<p>今、西脇市で3000人の子どものうちゲーム依存になっている子が何%ですという統計は取っておりません。</p> <p>11月11日も西脇市内の小中学校すべての生徒指導の担当者12名が集まって、ゲーム依存の勉強会をしたところです。日常生活に支障をきたしているのがゲーム依存だそうです。</p> <p>これもテレビとか報道であったことですが、ご飯は食べない、家の人がかもっている部屋に持ってきてもがつつくだけでえさのようにしか食べない。</p> <p>トイレにも行かないそうです。トイレに行っている間に対戦相手が変わってしまうと大変だから机の前に座ったまま用を足す、というのが本当にこの日本で行われているようです。</p> <p>それぞれいろいろあるのですが、日常生活に支障をきたす、学校に行きたいけれどもゲームをやっていることで起きられなくて学校に行けないとか、ネットの中の環境だけでしか人と交われない。</p> <p>根本はパチンコや競馬とかのギャンブル依存症の部</p>

<p>会長</p>	<p>分だそうです。</p> <p>これはお医者さんが色々研究されていると思いますが、そこになっているのか、なっていないのかというところを12月末から1月にかけて、アンケートを実施して把握していきたいと思っています。</p> <p>今後ということでデータが出ましたら報告があるかと思っています。また必要であるならばこの会議でもネット依存についての勉強会を開いてもいいのかなと思います。その時はよろしくお願いします。</p> <p>次の議題に行きたいと思います。</p> <p>それでは報告事項ひとり親家庭アンケート調査結果について事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>【資料3-1、3-2】に基づき説明</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。このことについての質問ありませんか。ひとり親家庭というのは年々どんどん増えていっているのですね。</p>
<p>事務局</p>	<p>年々増えていると言えば増えているのですが、18歳までが対象となる児童扶養手当の受給者数としては微増傾向ではありますが、ほぼ横ばいです。</p> <p>西脇市では350世帯ですが、ここには大学生のお子さんがいらっしゃるひとり親家庭は入っていません。</p>
<p>委員</p>	<p>先ほどの子ども・子育てに関するアンケート調査結果にも関わることですが、やっぱり相談する人がいないという人が気になるのです。</p> <p>報告を聞いて、できるだけ駆使して臨んでおられると思うのですが、相談をする人がいないという方の把握はできているんでしょうか。</p> <p>例えば民生委員さんがそういう方を分かっているというような体制になっているのでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>児童扶養手当の現況届時に、出来るだけ面談をさせていただいて、困った事などを聞き出しながら繋がっていかうとしています。</p> <p>その中で、気になる家庭には後日電話をさせて頂い</p>

<p>委員</p>	<p>たり、民生委員さんをお願いしたり、学校を通じて情報共有をしたりして関わっていくようにしています。</p> <p>先ほどのSDGSのところでもおっしゃいましたけれども、誰一人取りこぼさないということを心がけるとすれば、西脇市はそんなに大所帯ではないので、西脇市だからできた、西脇市は一步進められましたという報告ができるような取組をしていただきたいと思います。</p> <p>ひとり親家庭の問題はデリケートで個人情報とかプライベートなことで難しいと思うのですが、それでも一市民として何かこういうことをすれば町の雰囲気が変わるとか、相談する空気が生まれるとか、何かそんな工夫をみんなでできたらいいなと思います。よろしくお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>ひとり親家庭のアンケートについては記名式ですので、お答えいただいた方の中では、相談する人がいない方の把握はできております。</p>
<p>会長</p>	<p>今委員からありましたように行政だけに任せるのではなくて、この問題は市民をあげて取り組んでいかなければいけない問題かと思いますので今後の検討課題としていきたいと思います。</p> <p>では次の報告事項ヤングケアラーについて事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>【資料4-1、4-2、4-3】に基づき説明</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。ご質問ありますでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>まだ実際に把握できている段階ではないのですね。</p>
<p>事務局</p>	<p>どのような形で実態調査をするか、国の答申や県の動き等も見ながら具体的にどうするか今考えているところです。</p> <p>一つには、学校現場から見て頂くということになっていますが、小中学生であれば学校に所属しています</p>

<p>委員</p>	<p>が、高校生の年代になると、市の教育委員会の範疇ではないので、その辺りをどう捉えるかとか、大学生世代の把握がかなり難しいですので、今市の方でできる範囲のところは内部で検討しています。</p> <p>私は毎日新聞なのですが、結構頻繁にヤングケアラーの記事が出ています。</p> <p>国からの指示を待たずに、市独自でやれることはやろうと立ち上がっている市がいくつかあるので、西脇市もぜひそんな市になってほしいなと思います。</p> <p>それと体験談で、せっかく担任の先生とか学校の先生に今自分がこんな状態で家族の世話をしていますと話しても、「それは家庭の問題であなたの問題じゃない」と言われて、取り付く島がなく、せっかく声に出したのに失望して、だれにも頼れないのだなと思ったという人の記事がありました。</p> <p>学校の先生方には一日も早くアンテナを伸ばしていただいて、生徒さんからそういうことを聞かれたら、手を差し伸べて、「これは君が背負わないといけないことじゃなくて方法があるよ」と、子どもに伝えてあげられるような先生方でいてほしいと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>今、委員が言われたようなことで、一番のパイプとなりますのは西脇市内の中学生で言いますと、毎日6行日記と言いまして、学校によって名前が違いますが、自主ノートと言ったり、その連絡帳の下に6行日記を書くころがあって、それを毎日学級担任に提出しています。学級担任は時間のあるときは赤ペンでコメントを書いて生徒に返すのですが、ヤングケアラーだけでなく虐待のケースであったり、家庭の悩みであったりという様に結構書くことがあります。そのパイプの中で子どもが発信することがあるのかと思います。</p> <p>虐待の場合は例えば衣服が汚れているとか、洗濯が何週間もできていないのではないとか、なにか最近給食をすごくがっついて食べているの大丈夫かなとか、虐待の発見のアンテナを立ててくださいというのがここ数年前からあります。</p> <p>ヤングケアラーのアンテナも立ててくださいというのは昨年度からお願いをしているところです。</p>

<p>会長</p>	<p>しかしながら先ほどからいろいろなアンケートがありますが、学校であなたはヤングケアラーですかというようなデリカシーのないアンケートはできませんので、やはり今委員が言われたような、そういう目をどれだけ持てるのかなど、先ほどの新聞報道のようなことがないように努めてまいりたいと思います。</p> <p>ありがとうございます。虐待もそうですが、虐待かなと思ってもなかなか通報しにくいということがあります。この場合もヤングケアラーかなと思ってもすぐに通報してもいいのかという問題も出てくると思います。</p> <p>学校の先生だけでなく市民全員が、見付けていって早期支援しなければいけない問題だと思います。心理的に微妙なところを含んでいるので、取組が難しいとは思いますが。</p> <p>実際お父さんが病気だし、ヤングケアラー違うかなと疑ったときに相談窓口はあるのでしょうか。それとも疑った段階ですぐ通報というか相談してもいいものなのかどうかということをちょっと教えていただければと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>看板をあげてヤングケアラーの支援窓口というのはないのですが、今ヤングケアラーの関係で文書が来ているのはこども福祉課です。</p> <p>福祉全体の話としまして、例えば県の調査で、民生委員さんのアンケートの中で上がってきているのと、要保護児童対策地域協議会の中に出てきているのとで、民生委員さんからも情報が入ってきますので、その際は障害福祉と連携したり、高齢者福祉と連携したりというような形をとっています。</p> <p>今のところはこども福祉課で受けていますが、今後ケアをする方の問題も出てきますので、こども福祉課だけの問題ではなく、各家庭全体になりますので、その辺りは内部的にどういう形にするか検討しているところです。</p>
<p>会長</p>	<p>中学2年生で5.7%の方がヤングケアラーというびっくりするようなデータだと思います。やっぱり子ども</p>

<p>事務局</p>	<p>の負担になるということは、これも虐待と考えてもいいかなと思います。虐待とセットでヤングケアラーの問題を西脇市で取り組んでいただきたいと思います。よろしく願いいたします。</p> <p>その他につきまして事務局からお願いします。</p> <p>令和3年度西脇市教育フォーラムということで、チラシを1枚配付させていただいていますが、裏面の開催趣旨のところ、本市の総人口は令和2年11月に4万人を割り込み、子どもたちの数につきましても今小中学校で3,000人です。10年ほどで約1,000人減少しているような状態で、今後もその減少が続くということになっています。</p> <p>その中で、本市の義務教育段階の子どもたちが学ぶ学校の学習環境をどのように整えていくか、昨年度より学習環境等適正化の検討会議を設置して進めています。</p> <p>表面の開催プログラムでは、この子ども・子育て会議の委員である西浦さんも参加していただいて、ここに載っている方のパネラーとして、～私たちが描くにしわきミライのカタチ～ということでディスカッションをしていただきたいと思います。と思っています。</p> <p>日程につきましては今月の28日の日曜日午後1時半から茜が丘複合施設みらいえの多目的ホールで開催をさせていただきます。定員70人ということで若干まだ余裕がありますので委員の皆さんは時間がありましたらご参加をよろしく願いしたいと思います。</p> <p>地域で会議や説明会をさせていただくのですが、役員さんは責任出席ではないですが結構出ていただけます。</p> <p>時間帯とかもう少し考えなければならぬところはあるのですが、やはり就学前の保護者の方であるとか小学校の保護者の方の参加が非常に少ないです。</p> <p>できるだけ未来の西脇市を背負って立つ子どもたちの保護者の方に多く参加していただいて、その中で進めてまいりたいと思っていますのでまたよろしく願いしたいと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。</p>

<p>委員</p>	<p>子ども・子育て会議そのビジョンを語りたくて、もう少し10年後20年後の西脇市のビジョンのことが出てくるとうれしいなと思います。</p> <p>教育フォーラムをされている小中学校の統廃合の話に繋がっていくのでしょうけれども、今毎年20人ずつ出生数が減っているわけで、今年は200人しかいない、計算上あと10年で出生数がゼロになる。するともう小中学校はいらないのではないか。子どもがいらないのではないかと、今のデータだけ見るとそういうことになってしまいます。</p> <p>やはり10年後20年後に引き継ぐ未来がある西脇市にするためにはどうしたらいいのかというようなビジョンをこの会で語りたい。</p> <p>一時的なことかもしれませんが、明石市なり小野市なりそれなりに人口が増えているところもあるわけですから、いろいろなことを踏まえて、それは生活のしやすさとか下水道料金などが絡んでいるのか絡んでないのかわからないですけど。</p> <p>子ども・子育て会議で報告も大切ですが、将来のビジョンを語りたいという願いをしておきます。</p>
<p>会長</p>	<p>そうですね。とても大切なことだと思います。そういう座談会のようなこともしたいですね。そういうことも企画してください。市長や議員さんも交えて話をしたいですね。是非企画をお願いします。</p> <p>全体的なことでも結構ですので他にご意見はありませんか。</p>
<p>委員</p>	<p>周知、知ってもらふこと、なかなかうまくいかないということで、この件に関わらず何事にも結構周知って難しいなというふうに感じているのですが、こういった子ども子育てに関わる周知で、今どういうところで困っていらっしゃるかというのを具体的にお伺いできれば、いいアイデアが出るかはわかりませんが、それぞれ協力し合っていていい知恵を出し合って、本当の意味で知ってもらって、いろいろなサービスを使ってもらふというのが一番大事だと思うのでその点を教えていただければなと思います。</p>

<p>事務局</p>	<p>お答えになるかわからないですが、今意見を聞かせていただく中で、委員の方からも言われたように行政として足りない部分もあるのですが、いろいろな手段で周知はしていますが、やはり実際に届いて欲しい方になかなか届かない。</p> <p>興味を持っておられる方はホームページや広報等、いろいろな手段で見ただけですのでその周知は結構行っていると思います。</p> <p>しかしながらこの人に聞いてほしいという方については、申し訳ないですが無関心というような方が結構おられるので、その方にどのような周知の仕方をすればよいかというのが今行政の中でも課題です。</p> <p>いろいろな手段を使っても見ていただかないとなかなか届かないというのはありますので、そこが一番問題かと思っております。</p>
<p>会長</p>	<p>どんな会議でもそうですね。我々がどんな勉強会を開いても本当に知ってほしい人に来てもらえない。それはどの会でも同じかと思えます。</p> <p>我々が何かすることができたら手助けできたらと思うのですが。</p> <p>ご意見いただいて、前向きに、本当に来てほしい人に来てもらえるような会を作る、周知をどのようにすればいいのか、またご意見いただければありがたいなと思っております。今日はこのことについては時間がとれませんけれども、そんなことを話すような時間も今後決めて作っていただけたらと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>答えがないなと思っておりますのですが、自前で全部やっていく話じゃなくて、例えば保護者、PTAをうまく使うとか遠慮せずにそこはいろいろなところに声をかけてくださいとかでいいと思います。</p> <p>まず広めていって少しでも触れてもらう機会を作ることが大事かなと思います。</p> <p>他の市民の方々とか関係者、各種団体の方に、これが大事だからちょっと伝えて欲しいということをお願いいただければありがたいなと思いましたのでよろしく申し上げます。</p>

会長	<p>いろいろなアプローチ法がありますが、うまく兼ね合わせて進んでもらったらと思います。今日は本当にたくさんのご意見をいただきありがとうございました。</p> <p>以上をもちまして本日の議題をすべて終了いたしました。</p>
問合せ先	西脇市福祉部 こども福祉課 電話：0795-22-3111（代）